



今年もおいしさ百満足♪の
ひやくまん穀を届けましょう(^^)!

ひやくまん穀通信 第1号

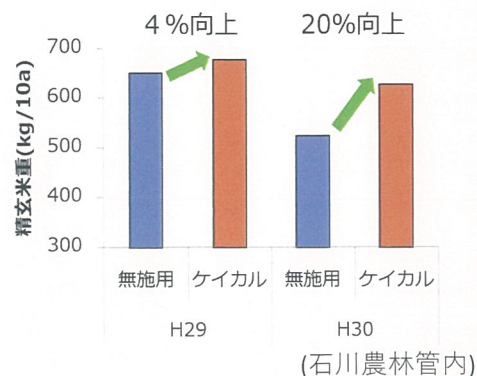
白山石川版 ひやくまん穀支援チーム
白山石川営農推進協議会
令和2年 3月 5日発行

1 土づくり ～ケイ酸を補給し、登熟能力UP↑↑～

○体の大きなひやくまん穀は、ケイ酸を多く必要としています。
秋に土づくりを行っていない場合は、必ず**ケイ酸資材を投入**しましょう。

ケイ酸施用することで
収量向上に効果があります♪

肥料名	10a施用量(ケイ酸含有量)
推奨 ひやくまん馬力	80kg (21kg)
松任PKプラス	80kg (22kg)
松任ケイサンプラス	80kg (24kg)
白山大地	80kg (16kg)
PKけい酸09号	80kg (19kg)



○作土層を**15cm以上確保**する。

2 播種・育苗管理 ～穂数確保への道は、ここから始まります～

(1) **播種作業は計画的**に実施し、
5月の連休中に稚苗を田植えしましょう！

(2) 種子準備・播種量

《育苗日数の目安》

播種	田植え	育苗日数
4月10日	5月1日	21
4月13日	5月3日	20
4月18日	5月6日	18

種子準備はコシヒカリと同様ですが
ひやくまん穀は大粒のため、
播種量に注意してください。

播種量：
乾籾145～150g/箱
(コシヒカリ120gに比べ20%増量)

(3) 初期病害虫防除

育苗箱施薬剤は、**紋枯病**に登録のある薬剤を使用しましょう。

使用時期	薬剤名	使用量	対象病害虫名
播種時～ 移植当日	エバーゴルプラス 箱粒剤	50g /箱	いもち病、紋枯病 いぼ かいし、いぼ りんご

(4) 育苗管理

育苗期間は一ヶ月以内とし、老化苗の植え付けとないようにしましょう。

※老化苗や徒長苗を植え付けると、
初期分けつ発生が遅れ、穂となる優良茎の確保ができません。

